

日 時：2024年12月1日（日）14:00～15:40

場 所：甲田文化センターミュージズ

参加者：100名

○対話集会でいただいた意見や要望をまとめました。

## 1 統合そのものについて

- ・資料にある答申は一般的なものだと思うが、安芸高田市はこれに該当するのか。
- ・ここに集まった人のほとんどが、甲田から高宮に行くことに反対だと思う。教育委員会が示している2校統合を白紙にできるのか。

### 【市長コメント】

今日、この場で2校統合の場所を吉田と甲田にするとは言えません。持ち帰って教育委員会と協議します。

- ・中学校統合は子ども中心に考えていくべきで、素案は改善してもらいたい。教育委員会が示している吉田と高宮の2校案と吉田の1校案は、1校案ありきとしか思えない。甲田の住民に、高宮が嫌なら吉田の1校統合しかないと言っているようなもの。当面、3校統合にして、段階的に統合していけばいい。スクールバスの説明があったが、自転車通学には体力づくりや社会性の育成といった面もある。学校教育法には、中学生の社会性の育成がうたわれている。甲田には病院があるが、高宮には病院がない。もし事故があったときには、高宮より甲田の方が早く対応できる。最終的に1校にすべきだと思うが、1校統合は10年経ってからでもいいのではないか。
- ・統合は3校案が一番いいと思うが、各地区から委員を出して決めればいいと思う。
- ・教育委員会が出している素案を白紙に戻してもらいたい。この中学校統合は、保護者から要望があったものでもないし、地域から要望があったものでもない。市の財政から教育委員会に行き始めて始まったことだと思う。統合ありきで、保護者は反対意見を言うことができなかった。説明会に参加して意見を言ったが、全く反映されていない。保護者の代表を集めて、素案を作って欲しい。今から統合するとしても、5～6年かかる。そもそも統合するかどうか決まっていない。地域から中学校がなくなると、市外に出る人が多くなるのではないか。市はイベントなどをやって地域を盛り上げていくべきだと思う。
- ・教育委員会の説明会に行ったが、統合ありきで、アンケートに「統合したくない」の選択肢がなかった。説明では、始めは3校案もあったが、3校統合だとすぐに統合する必要があるという理由でなくなった。
- ・答申にある学校規模は、文科省に書いてある一般的なこと。この答申を作ったのは、小学校の複式学級が課題になっていたから。市民やPTA、教員で話し合って作った。今回は議論が足りていない。教育委員会の説明は、保育所で15分程度、小学校で30分程度しかしていない。パブコメをやったが、パブコメは議論が煮詰まってからすべきもの。今、市でも不登校が増えている。まずは、そこを解決してから統合を進めるべきではないか。過去には、庄原市で統合をしたときに学校がとてつもない荒れた。統合してスクールバスを待つ時間ができて、放課後が長くなると生徒がクリスタルアージュやゆめタウンにたむろするようになる。こうした問題は、検討委員会のような場があり必ず議論を行ってきた。今回はなぜやっていないのか？課題に対してしっかりと議論すべきで、早急に1校、2校の議論をすべきではない。

### 【市長コメント】

これまでの教育委員会の説明は、ある意味雑なところがあったと思います。

## 2 統合の進め方について

- ・学校の先生や生徒たちなど、教育現場の意見も聞いてもらいたい。

### 【市長コメント】

中学生の意見を聴くために、1月に中学生との対話集会を予定しています。

## 3 校数と位置について

- ・甲田の生徒が高宮に行くのは納得がいかない。甲田は吉田へ行くほうが近い。

### 【市長コメント】

2校案であれば、学校を選べるようにする工夫がいると思います。

- ・甲田町出身の4議員が市民を対象に中学校統合の学習会を開催したが、集まった市民の1人も高宮への統合に賛成している人はいなかった。
- ・甲田は高宮に統合することになっているが、冬は雪が降るので行きにくい。まずは生徒数の少ない高宮中などから、段階的に統合してはどうか。
- ・生徒数が少なくなってから、小中一貫校を作って、各町に中学校を残すのはどうか。
- ・教育委員会に吉田のどこに統合校を作るのか聞いたときに、「国道54号沿いで、浸水せず避難所として利用できる場所で、バスロータリーが作れるところを探す」と言われたが、この前の大雨で吉田の中心部は浸かっており、ホントにそんな場所があるのか。

## 4 通学について

- ・スクールバスは無料化？芸備線は利用しないのか？
- ・甲田の生徒が高宮にバスで行くとなると、人数が多いので少なくとも2台以上必要になり大変だと思う。通学の距離を考えると、いろいろ回っていると1時間20分くらいかかる。文科の基準が概ね1時間なので、基準に違反していることになる。
- ・教育委員会は、スクールバスの通学時間の検証などの実地調査をしておらず、職務の怠慢だと思う。
- ・スクールバスで通学するにしても、バス乗り場まで自転車で行くと思うが、人のいない所に自転車を置いておくと盗難の可能性があると思う。自転車は誰が管理するつもりで、防犯対策はどうするつもりか。

## 5 部活動について

- ・部活動は地域化が進んでいるので、6校のままでバスを利用して交流してはどうか。

## 6 他市の事例について

- ・岡山県の奈義町は市町村合併をしないで単独町でやっている。子どものためには何でもするとして、財源を確保するため町議や職員を減らすなどの対策をして、その財源を子どものための政策に充てている。その結果、出生率が、2.95になっている。市長には、そのような思い切ったことをする考えはないか。市民も我慢したり、痛みを伴ってやらないと何もできない。そうしないと衰退の一途をたどると思う。

### 【市長コメント】

市では子どもたちのために、給食費の無償化などに取り組んでいます。しかしながら、子ど

もたちへの未来への投資だけでなく、シニア層の方も安心して充実した暮らしができるようにしていきたいと考えています。

- ・宮崎県西都市は、自衛隊の基金を活用して、2年くらいかけて協議会を設立し関係者で話し合いをして学校統合をしており、学校統合の成功事例だと思う。新人議員はぜひとも視察研修に行くべきだと思う。

## 7 その他

- ・安芸高田市は消滅都市になっている。将来的には、広島、三次、東広島と統合することになるのではないか。広島県では、人口減の要因を調べる予算を組んでいる。安芸高田市も、根本的な人口対策、問題解決をする必要があるのではないか。芸備線も同様の考えで、利用者が少ない要因を調べて、根本的な対策をするべきではないか。

### 【市長コメント】

教育環境を充実することは、大きな問題だと思います。持続可能なまちづくりは、しっかり考えていかなければいけません。現実を見ながら、総合的に考えて取り組まなければいけないと思います。

- ・文部科学省のホームページで資料がアップデートされている。以前、市民説明会の後に教育委員会に資料をアップデートするように伝えたが、アップデートされていない。資料を提供するのでアップデートすべき。広く意見を集めて、1・2年以内に素案を決めてもらいたい。